

応急手当



地震の際には

- 救急車が来ない
- 医療機関にいけない可能性も

いざという時のために、

- ①直接圧迫止血方
- ②骨折（非開放性）の手当
- ③AEDについて

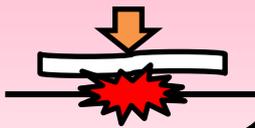
を知っておこう

1. 直接圧迫止血法

直接血に触れないようにビニール等で手を覆う。

- ①傷口に清潔なガーゼ・ハンカチ等を当て直接圧迫

PRESS

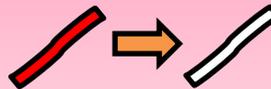


- ②傷口を心臓より高い位置に上げる

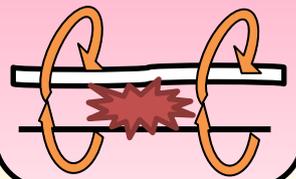


- ③ハンカチ等が汚れたら交換する

CHANGE



- ④止血できたら包帯・ハンカチ等で当て布を固定する



2. 骨折（非開放）の手当

災害時には身の回りモノで対応できる

- ①骨折箇所を支える副木を用意。開放性（骨が出ている）時は無理に戻さず医療機関へ



- ②折れた骨の両側と副木を布等で結び固定し安静に。骨折箇所が湾曲しているときは無理に固定しない



- ③腕・ひじなら三角巾等で首から吊るす



- ④氷があれば患部を冷やす



副木→丸めた新聞紙
布→ネクタイ・タオル
三角巾→広げた
ビニール袋
などで代用可能



3. AEDについて

- ・心停止の時間経過と共に電気ショック成功率は低下
- ・まず119番通報し、救急車到着まで周囲で対応

- たまは5か所設置
- ①事務課 ②体育館
- ③若木21 ④5号館
- ⑤第二体育館

- 倒れて意識がない場合に使用する。（迷ったら使用）

- 電源ONで音声ガイダンスが流れる



- 音声に従い使用
- ★必要なら電気ショックが実施される

